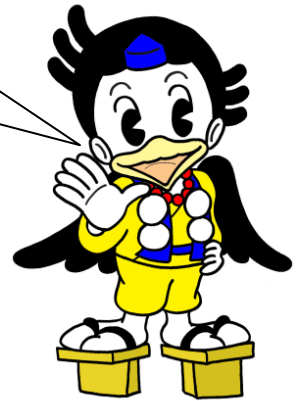


水道管の寒波対策についてのお知らせ

寒さは水道管の大敵です。
水道管が凍結しないよう、寒波対策をしましょう。

冬の厳しい寒さで水道管が凍って水が出なくなったり、破損することがあります。気象情報に注意して、水道管にも寒波対策をお願いします。

宅地内の水道管（給水管）はお客様個人の所有であるため、破損してしまうとお客様（所有者）が修理費用を負担しなければなりません。



©kometani

◇ 特に凍結しやすい場所

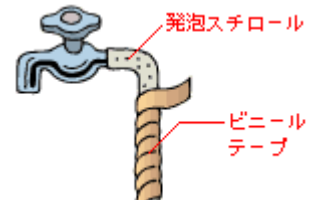
- ◆ 外で「むき出し」になっている
- ◆ 北向きで、日陰にある
- ◆ 風あたりが強い場所



◇ 凍結防止の方法

市販の水道管用の保温材や、タオル・毛布・布きれ・発泡スチロールなどで水道管を覆い、濡れないようにその上からビニールテープを巻きましょう。

（市販の水道管用保温材はホームセンターなどで販売しています。）



メーターボックスに保温材を入れましょう！

保温材（発泡スチロール等）を細かく砕いて濡れないようにビニール袋に入れ、メーターを覆うように詰めましょう。

（メーター検針が容易に出来るようにしてください）



※ 蛇口から水を楊枝1本くらいの太さで出しておくのも凍結の防止に有効ですが、出した分の水については、料金がかかりますので出し過ぎにはご注意ください。お風呂の浴槽などに溜めるようにして、有効活用しましょう。

◇ 水道管が凍ってしまったら

凍ってしまった部分に、タオルや布などをかぶせて、その上からゆっくりと「ぬるま湯」をかけてください。なお、蛇口を開けてもすぐに水が出ない場合がありますが、そのような場合でも、蛇口は開けたままにせず、必ず閉め、自然に溶けるのを待ってください。

※熱湯を急にかけると、水道管や蛇口が破裂することがありますので、ご注意ください。



◇ 水道管が破裂したら

もしも水道管が破裂してしまった時は、まず、メーターボックスの中の止水栓を閉めて、漏水を止めてください。

次に、破裂した部分をテープなどでしっかりと止めて応急処置をし、直ちに『豊前市指定給水装置工事事業者』に修理を依頼してください。

凍結事故の修理代は、お客様のご負担になります。修理費用は工事の内容によって異なりますので、詳しくは修理を依頼される水道工事店に直接お問い合わせください。



冬の間長期留守される方、空き家・空き部屋をお持ちの方へ

空き家・空き部屋をお持ちの場合、また旅行などで長期にわたって不在の場合、蛇口の立ち上がりやボイラー等が凍結し破裂する恐れがあります。凍結防止を心がけましょう。

また、長期不在の場合は、水道お客様センターに「閉栓(使用中止)届」を提出してください。凍結による破裂が生じた漏水の場合、長期にわたって誰にも気付かれず流している状態になり水道料金が高額となることはもちろんのこと、修理費はお客様ご自身のご負担となりますので、『豊前市指定給水装置工事事業者』へ費用の確認をおこなってください。

不明点・お問い合わせについて

水道管の凍結などの不明点やお問い合わせは下記までご連絡ください。

豊前市役所 上下水道課
☎ 82-1111 (代表)

豊前市水道お客様センター
☎ 64-6555